

国際キャリア実習報告会

2017年11月1日（水） 12時10分 コモンズ3

国際学部 国際社会学科 4年

兵藤 花恵

アジェンダ

- 自己紹介、国際キャリア実習参加理由
- インターンシップ先について
- 実習内容
- 印象に残ったこと①②③
- 今後に向けて
- 余談

自己紹介

氏名：兵藤 花恵

経歴：秋田県 秋田市出身

2014年4月 宇都宮大学国際学部 国際社会学科 入学

2016年2月～2017年2月 University of Victoria (Australia) 交換留学

2019年3月 卒業見込み

所属研究室：国際協力論ゼミ 重田康博 教授

興味分野：国際協力、フェアトレード、途上国女性の人権問題etc…

国際キャリア実習参加理由

- ① 実際に国際協力現場で現状を見てみたかった
- ② 今までの学習を深めるため

インターンシップ先について

名称：公益財団法人 国際開発救援財団

Foundation for International Development/Relife (以下FIDR)



設立年：1990年4月

はじまり：山崎製パン創業者 飯島藤十郎氏による開発途上国支援

事務所：日本、カンボジア、ベトナム、ネパール

主要事業：国際協力援助事業、緊急援助事業、広報啓発事業

カンボジア事業内容：
・ [カンボジア小児外科支援](#)・[カンボジア栄養教育普及](#)
・ [カンボジア給食支援](#)・[コンポンチュナン州農村開発](#)

ミッション：①FIDRは開発途上国の子どもたちが健やかに育つことができる社会をつくります。

②FIDRは日本国内の様々な企業、団体、そして多くの個人の皆様と一緒に国際協力を推進します。



FIDRカンボジアスタッフの皆さん

インターンシップの概要

日程：2017年8月18日（金）～9月1日（金）

場所：FIDR カンボジア

プンペン事務所 18日（金）～25日（金）	コンポンチュナン事務所 28日（月）～1日（金）
チャイルドプロテクションポリシー研修・ ワークショップ	農村コミュニティにて離乳食づくり研修視察
給食支援事業補佐	農民組合リーダー研修視察
FIDR事業内容学習	水上生活者の生活見学
国立小児病院見学	FIDR創設の小学校視察 キーファーマーの自宅訪問
事業報告書和訳	地域医療センターの視察

印象に残ったこと①

カンボジアの栄養問題



農村の人々が手に入るもので
つくる離乳食の材料



実際に離乳食をつくる様子



国立小児病院にてFIDRが
作成した病院給食メニュー



来年度から保健科目に導入
予定の食事バランスガイド

栄養に関する知識が広まっていない現実。即急な対応が必要。

印象に残ったこと②

農民組合の3日間の研修



- ・農民の学習レベルを意識した研修内容
- ・各農民組合のリーダーの発掘・やる気スイッチを探す
- ・彼らが抱える問題を根本から考える手助けをする
- ・家族のように寄り添い、信頼関係を築く

助け合いの気持ち、人と人のつながりを深めることが事業成功のカギ

印象に残ったこと③

FIDRスタッフの方へのインタビュー



Bunnaさん

Community Developmentで大事なこと

- 「私たちは先生ではない、家族です」という気持ちを伝える
- Let them think.自分たちで計画を立ててもらう
- ファシリテーターとして組織を牽引していく
- 長い年月をかけ、FIDR撤退後も良い状況が続くことで初めて事業成功となる



真緒さん

国際協力の分野で働くということ

- 積極的にコミュニケーションをとりに行くこと（言語が話せたら尚よい）
- 適応力・忍耐力・理解力が必要
- 国際協力を仕事とするなら経験を多く積むこと。大学院進学もよい

事業対象者が自分たちで問題分析・解決をし、
持続的な生活向上を目指す手助けをする

= N G O の仕事

日常生活から感じたこと

- ▶ 都市と農村の格差
- ▶ 成長の勢いが止まらない
- ▶ 町中にあふれるゴミ、バイクによる空気汚染等の環境衛生問題
- ▶ 物乞いをする人の多さ
- ▶ 英語が通じない
- ▶ カンボジアの歴史に関してあまり触れない、詳しく知らない若者も多い

→今は過去を振り返るより、前を向いて発展に力を注ぐ時期？

今後に向けて

- ▶ 引き続き国際協力への理解を深める
- ▶ 今後の自身と国際協力のかかわり方を模索する
- ▶ 英語力を磨く
- ▶ コミュニケーション能力を高める

余談①～ごはん編～



余談②～休日編～



ご清聴ありがとうございました。